

「読み解く力」学習指導案作成のポイント

第〇学年〇〇科学習指導案

1 単元名（題材名）

2 単元（題材）の目標

本単元において育成を目指す資質・能力（「知識及び技能」「思考力・判断力・表現力等」「学びに向かう力、人間性等」）を、学習指導要領を基に記述する

3 単元について

（1）児童（生徒）の実態

本単元で育成を目指す資質・能力（指導する事項）に関わる児童生徒のこれまでの学習状況、実態等を記述する

（2）教材について

取り上げる教材の内容や特徴、その教材を取り上げる意義、既習事項との関連、今後の展開、教材と児童生徒との関連等を記述する

（3）指導について

本単元における学習の展開や活動、指導の工夫について、主体的・対話的で深い学びの視点からの指導等を記述する

（4）児童（生徒）が「読み解く力」を、高め、発揮している姿とそのための手立て

【「読み解く力」の二つの側面】	【「読み解く力」の三つのプロセス】
A…主に文章や図、グラフから読み解き理解する力	①…発見・蓄積：必要な情報を確かに取り出す
B…主に他者とのやりとりから読み解き理解する力	②…分析・整理：情報を比較し、関連付けて整理する
	③…再構築：自分なりに解決し、知識を再構築する

育成したい資質・能力に照らし合わせて、児童生徒が「読み解く力」を、高め、発揮している姿を実現するための各プロセスにおける具体的な手立てや工夫について記述する

- ・児童生徒が目的意識をもつための手立てや工夫
- ・児童生徒が、何から（資料等）、何を、どのように「発見・蓄積」するか
- ・児童生徒が、何を、どのように、何のために「分析・整理」するか
- ・児童生徒が、どのような「再構築」をするか 等

4 単元（題材）の評価規準

知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度

本単元において育成を目指す資質・能力に関する評価規準を記述する

5 指導と評価の計画（全○時間）

※実線は、「読み解く力」のAの側面、波線は、Bの側面に関わる留意点や評価規準

次	時	主な学習活動	指導上の留意点	評価規準・評価方法
一	1		・主たる学習活動、その活動に対する指導上の留意点、それにより達成される評価規準を記述する ・項目や書き方については、国立教育政策研究所『指導と評価の一体化』のための学習評価に関する参考資料」を参照する	
	2			
二				

6 本時の目標（本時：○／○時間目）

7 本時の評価規準

8 本時の展開 ※実線は、「読み解く力」のAの側面、波線は、Bの側面に関わる留意点や評価規準

	主な学習活動等	指導上の留意点（・） 評価規準（□）
	項目や書き方については、国立教育政策研究所『指導と評価の一体化』のための学習評価に関する参考資料」を参照する	

9 授業参観の視点

- (1)
- (2)